



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

## 学校図書館をもっとよくする会学習会に参加

2月9日、日野市の学校図書館をもっとよくする会が開催した、杉並区の実践を学ぶ学習会に参加しました。

杉並区では2009年から小中学校への学校司書の配置を開始し、2012年に全校配置を完了しました。学校司書の配置によって、学校図書館のレイアウトや本の展示の仕方が改善され、蔵書の更新がすすみ、利用する児童生徒が増え、貸出冊数も増加しました。さらに、さまざまな教科の調べ

学習で学校図書館が活用されるようになりました。

しかし、学校司書は1校1名の配置です。どんな本を購入し、廃棄したらよいのか、授業の流れはどうなっているのか、相談する相手がいません。

そこで、杉並区は学校司書の相談や研修を行う学校図書館支援センターを設置しました。

## 学校司書を支える学校図書館支援センター

学校図書館支援センターは、学校司書の相談を受け、時にはその学校を訪問して支援を行います。

また、学校図書館とは何か、蔵書の収集・廃棄・分類、読書活動、読み聞かせ、調べ学習の支援、子どもの発達など、さまざまなテーマで毎月学習会を開催しています。

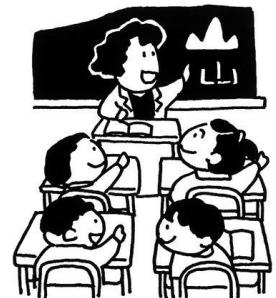
学習会は、他の学校の実践を学ぶことや、学校司書同士が困ったことを相談し合う貴重な交流の場ともなっているとのこと。

学校司書の支援をするには、本に関する知識だけでなく、教育に関する知識もなければなりません。杉並区の学校図書館支援センターには、区職員（係長）の他に、教

員や学校司書経験者という、両方の専門知識を持った人を配置しています。

学校図書館支援センターによる支援体制をつくることは、どの学校でも同じ水準のサービスを提供するという点で、とても重要だと思いました。

日野市では、昨年4月から四中、六小、旭小で学校司書の配置が始まりました。速やかに全校配置をすすめるとともに、学校図書館を支援する体制をつくることも合わせて取り組んでいきたいと思っています。



# 野党連合政権の実現へ

## 日野市民連合 2020年スタート集会に約120名



今年秋以降、総選挙が行われるのではとの声が聞かれます。

そのような中で、2月9日、安倍政権を倒し、野党連合政権をつくろうと、日野市民連合「2020年スタート集会」が開かれ、約120名の市民が参加しました。(写真)

## 日本共産党から早川かん予定候補があいさつ

集会では経済学者の山家悠紀夫さんが講演、景気悪化はアベノミクスの下で人々の暮らしが厳しくなり、消費支出が伸びないためだと説明。日本経済復活の決め手は、暮らしをよくすることにある。そのためには、賃金が上がらない構造を変えていくこと、社会保障を拡充すること、消費税を5%

に戻すことが必要だと述べました。

集会には、立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党の代表が参加、日本共産党からは衆議員東京21区予定候補の早川かん氏があいさつしました。

国民民主党、緑の党、生活者ネットからはメッセージが寄せられました。

## 保育園落ちた・・・

千葉県に住んでいる娘から、「保育園落ちた」と連絡が来ました。

娘は、3歳と1歳の子どもを保育園に預けて、4月から職場復帰する予定でした。

職場に行くには朝7時の電車に乗らねばならないため、近所に住む夫のお母さんに送迎をお願いすることになっていました。

お母さんは、二人の子どもを別々の保育園に送っていくことはできません。二人一緒に入れて、お母さんが送っていける範囲にある保育園というのが絶対的な条件で、「入れればどこでも良い」とはいかなかったのです。

来年3月までは育休が延長できたので、失業はしなくて済みましたが、その間は無給です。そして、来年4月に保育園に入ることができなければ、今度は失業です。

保育園入所の厳しさをあらためて感じました。